

# 受注企業動向調査結果

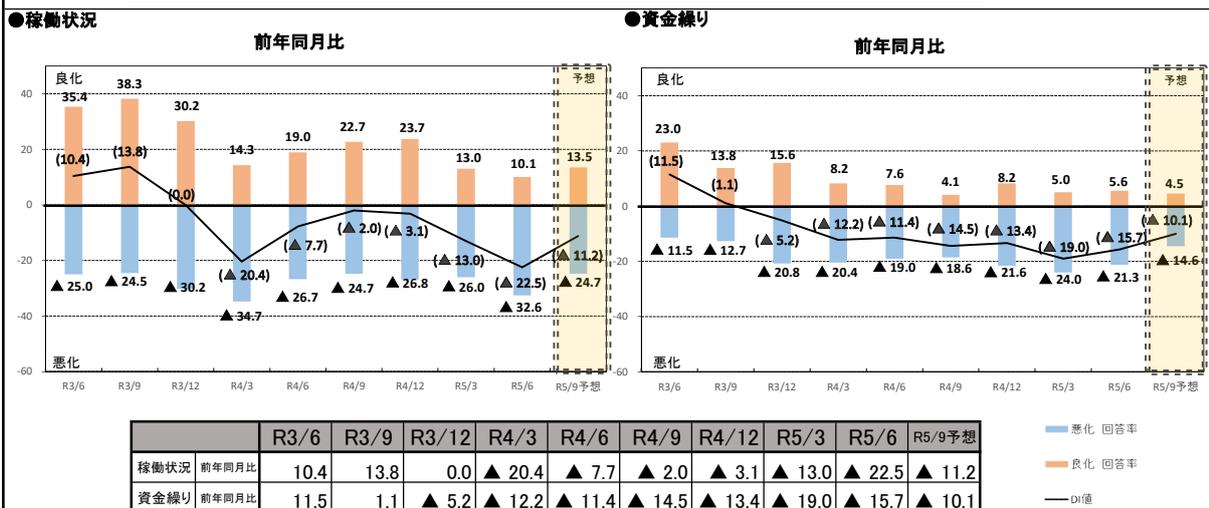
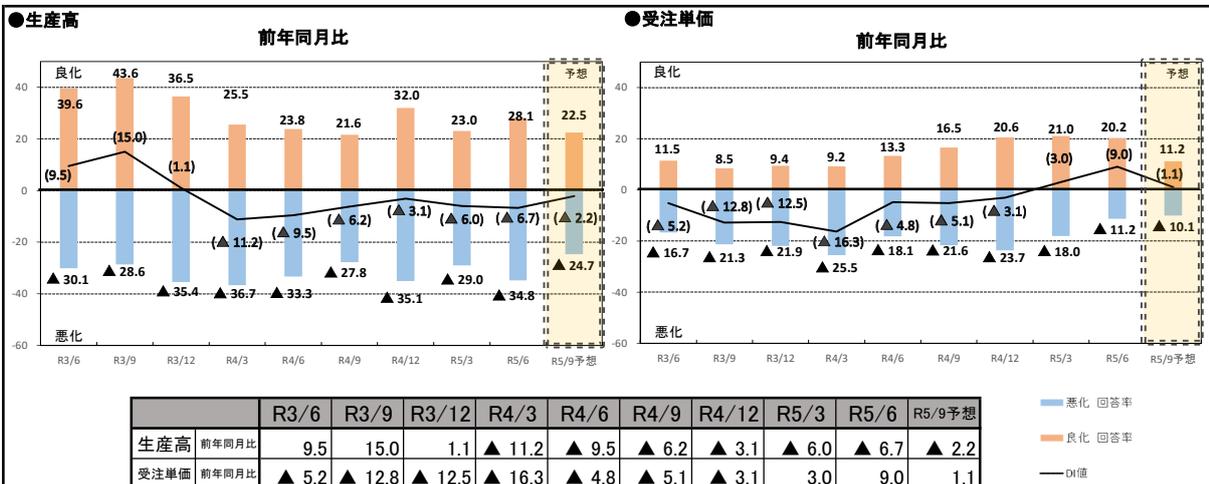
-2023.7-

- 調査時点 令和5年6月調査(令和5年6月末時点)
- 対象企業 150社
- 調査時期 4半期毎(3、6、9、12月末時点)
- 回答企業 89社(回答率:59.33%)

## <業種内訳>

プラスチック	6社
鉄鋼・非鉄	8社
金属製品	18社
一般機械器具	19社
電気機器	20社
輸送用機器	4社
精密機器	10社
縫製	4社
計	89社

DI(Diffusion Index)とは、景気の動きをとらえるための指標であり、良化と回答した企業の割合から、悪化と回答した企業の割合を減じた数値です。



## ●概要(総合)

- ・生産高(前年同月比)DIは▲6.7で前回の▲6.0から0.7ポイント減となった。
- ・受注単価(前年同月比)DIは9.0で前回の3.0から6.0ポイント増となった。
- ・稼働状況(前年同月比)DIは▲22.5で前回の▲13.0から9.5ポイント減となった。
- ・資金繰り(前年同月比)DIは▲15.7で前回の▲19.0から3.3ポイント増となった。
- ・3ヶ月後の予想DIは生産高が▲2.2、受注単価は1.1、稼働状況が▲11.2、資金繰りは▲10.1という予想になった。
- ・その他自由意見として、
  - ・電気代が高騰している。
  - ・受注量が少ない。コロナ前に戻るの今年度いっぱいかきそうである。
  - ・電力料の値上がりは、国の補助もあり一息ついたが、10月以降は見通せず。
  - ・材料も値下がりをはじめたものもあるが、いまだ値上がり続けているものが多く、一昨年状態に戻る気配はない。
  - ・価格転嫁交渉をはじめると、客先の腰は重い。
  - ・重油と電気の上昇は本当に痛い。原料も高止まりしていて、ユーザー様に同等の価格の値上げができていない。
  - ・諸経費の増加は経営の悪化になる。小ロット多種多様化で売上にならず厳しい。
  - ・賃金アップを実現する為に、工賃の値上げ交渉したい。
  - ・仕事が減りすぎ。もう少し回復してほしい。
  - ・という意見が寄せられた。